

ダイエー、平成観光の代表が自社の組織開発講演



浅野社長

フェイス総研（本社・東京都港区、小倉広社長）は1月28日、東京都千代田区の「サピアタワー」で「業績をあげる強力な組織を作った2社の共通点」と題するセミナーを開催。ホール関係者を中心に約100人が参加した。

ダイエー（本社・石川県河北郡津幡町）の浅野哲洋社長が「わずか2店舗の企業が店を増やさずに、2年で利益を3倍にした理由」を、平成観光（本社・岐阜県多治見市）の東野昌一専務が「6年間で店舗数を4倍にした理由」をテーマに講演した。

浅野社長は、他の社員やアルバイトにふがいないさを指摘された店長の奮起が劇的に社内を変えていったさまを説明。「毎朝7時に来て、駐車場のゴミ拾いをする」と店長は約束したのですが、どうせ続かないだろう

とみんな、思っていました。しかし、ずっと続いた。何日も続けていくうちに他のメンバーも来始め、いつしか別の店の店長も、やるようになっていったのです」と語った。その後、社員と共に理念作りに着手。「理念を作ったのではなく、理念を実践する人を作った」のが、組織開発に成功した要因だとした。

一方、東野専務は「実績ではなく、自社のアイズム、をどれだけ浸透させたか」と部下の退社率で社員を評価している」と語るなど、独特の組織運営法を披露しつつ、「まかせられる幹部を育成し、彼らが仲間を引っ張っていった」ことが成長へのターニングポイントになったと述べた。最後に小倉社長が講演。社員が主人公となっている両社の共通点を挙げた上で、「しくみや

ルールで会社は変わらない。リーダーシップから始めるのが重要。まずは人。それも全員ではなく、2、3人を熱くして、それを5人、6人に広げていく方法が有効」と語った。



東野専務



小倉社長



セミナーの様子